

安村典子教授 略年譜・業績目録

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/24273

安村典子教授 略年譜・業績目録

1. 略歴

1945年1月3日 東京都に生まれる。

学歴

1967年3月 国際基督教大学教養学部卒業

1967年4月 京都大学大学院文学研究科修士課程入学 西洋古典学専攻

1969年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程終了

1969年4月 京都大学大学院文学研究科博士課程進学 西洋古典学専攻

1971年3月 京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

1972年10月 - 1973年7月 ケンブリッジ大学大学院 (Faculty of Classics)

1994年10月 - 1995年7月 ケンブリッジ大学客員研究員 (Faculty of Classics)

1995年10月 - 1996年7月 ケンブリッジ大学大学院修士課程 (Faculty of Classics)

1996年9月 - 1997年3月 ロンドン大学大学院博士課程 (University College London,
Department of Greek and Latin)

2001年4月 - 2002年3月 ケンブリッジ大学客員研究員 (Faculty of Classics)

学位

1967年3月 教養学士 (国際基督教大学)

1969年3月 文学修士 (京都大学)

1996年6月 Master of Philosophy (ケンブリッジ大学)

2004年2月 Doctor of Philosophy (ロンドン大学)

職歴

1971年4月 国際基督教大学教養学部助手 (- 1972年9月)

1974年4月 学習院大学文学部非常勤講師 (- 1994年9月)

1988年4月 青山学院大学文学部非常勤講師 (- 1994年9月)

1992年4月 一橋大学商学部非常勤講師 (- 1994年9月)

- 1997年4月 金沢大学工学部情報システム工学科教授（－2006年3月）
2004年4月 金沢大学自然科学研究科情報システム工学科教授（－2006年3月）
2006年4月 金沢大学文学部教授に配置換（－2009年3月）
2009年4月 金沢大学大学院人間社会環境研究科教授（－2010年3月）
2010年3月 金沢大学を退職

集中講義

- 1989年 後期 金沢大学教養部「西洋古典学」
2001年 後期 九州大学大学院文学研究科『『イーリアス』について』
2004年 前期 九州大学大学院文学研究科『『オデュッセイア』について』
2005年 前期 放送大学「ホメロスの英雄像」

所属学会

- 日本西洋古典学会（1967年－）
Cambridge Philological Society（1994年－）

2. 研究業績

著書

1. 『古典解釈と人間理解』岡野昌雄、田中敦共編、山本書店、1986年（共著、第1章「ミュケーナイ時代の宗教」を担当、71-117頁）
2. 『ムーサよ、語れ 古代ギリシア文学への招待』川島重成・高田康成共編、三陸書房、2003年（共著、第1章、「ホメロス讃歌」を担当、79-101頁）、
3. 『ギリシア喜劇全集』別巻、岩波書店、2008年（共著、「ギリシア喜劇の上演形式」の章を担当、147-192頁）
4. *Challenges to the Power of Zeus in the Early Greek Poetry*, Duckworth, 2010 出版予定

研究論文

1. 『イーリアス』第六巻に関する一考察『国際基督教大学人文科学研究』12号、

- 1977年、45-69頁
2. 「古典ギリシア語の教授法について」昭和56年度科学研究費補助金（総合研究A）「大学の一般教育科目における哲学関係諸学科の教授法：実地と理論」研究成果報告書、1982年、42-45頁
 3. 「ミュケーナイ時代のバシレウ」木魂社『エポス』9号、1985年、1-18頁
 4. 「哀しみの糸杉」木魂社『エポス』11号、1987年、103-111頁
 5. 「ミュケーナイ時代のポトニア」岩波書店『西洋古典学研究』38号、1990年、1-15頁
 6. 「アテーナーの一票」木魂社『エポス』12号、1991年、46-56頁
 7. 「詩神は歌う」ペディラヴィウム出版会『ペディラヴィウム』38号、1993年
 8. 「ミュケーナイ時代の大地母神」ペディラヴィウム出版会『古代ギリシアの女性像』、1994年、37-63頁
 9. 「悲嘆の女神」京都大学西洋古典研究会『西洋古典論集』11号（岡道男教授退官記念号）、1994年、24-47頁
 10. “Deceptive Speech in the *Hymn to Aphrodite*”, M.Phil. Essay, Cambridge University, 1995, pp.1-22
 11. “Digression in the *Hymn to Apollo*”, M.Phil. Essay, Cambridge University, 1996, pp.1-20
 12. “Metis of Odysseus in the *Iliad*”, M.Phil. Essay, Cambridge University, 1996, pp.1-18
 13. “Some Strategies of Archaic Narrative”, M.Phil. Thesis, Cambridge University, 1996, pp.1-35
 14. 「ホメロス風讃歌第三番『アポロンへの讃歌』におけるテュポーン挿話(305-355)」京都大学西洋古典研究会『西洋古典論集』15号、1998年、1-23頁
 15. “The Second Song of Demodokos in the *Odyssey* 8.266-366”, 金沢大学教育研究センター『言語文化論叢』2号、1998年、173-194頁
 16. “Imaginative Intelligence of Hermes in the *Homeric Hymn IV, The Hymn to Hermes*”, 『金沢大学文学部論集』言語・文学編19号、1999年、141-162頁
 17. 「初期ギリシア文学における語りの手法」(科学研究費基盤研究成果報告書、2000年、1-71頁

18. “Cosmic Fragment of Alcman”, 京都大学西洋古典研究会『西洋古典論集』18号、
2001年、1-23頁
19. 「初期ギリシア文学におけるゼウスの主権」科学研究費特定領域研究『古典学の再構築』研究成果報告書2001年、267-271頁
20. 「初期ギリシア文学における神々の相克」科学研究費基盤研究成果報告書、2001年、
1-92頁
21. “The Threat of Thetis in Book One of the *Iliad*”, 科学研究費特定領域研究『古典学の再構築』公募論文集、2001年、309-314頁
22. 『オデュッセイア』第8巻の問題」京都大学西洋古典研究会『西洋古典論集』20号、
2004年、1-25頁
23. 「西洋古典学における『変身物語』と、近代文学におけるその受容」科学研究費基盤
研究成果報告書、2005年、1-115頁
24. “The Theomachy in the *Iliad*”, 『金沢大学文学部論集』、言語・文学篇26号、
2006年3月、65-89頁
25. 『オデュッセイア』21巻の弓競技におけるテーレマコス」岩波書店『西洋古典学
研究』55号、2007年、24-37頁
26. 「ギリシア喜劇の深層とその今日的意義」科学研究費基盤研究成果報告書、2007年、
1-100頁
27. 「プロメテウス神話：ヘーシオドスから近代への変容」科学研究費基盤研究成果報告
書、2009年、1-6頁
28. 「アイギスをめぐって：アテーナーとゼウス」『中務哲郎教授退官記念論文集』、
京都大学西洋古典研究会（西洋古典論集別冊）2010年3月発行予定

翻訳

1. 『ミューケーナイ世界』(John Chadwick, *The Mycenaean World*, 1976)、みすず書房、
1983年、1-326頁
2. 『古代芸術のコスモロジー』(Roger Hinks, *Myth and Allegory in Ancient Art*, 1939)
平凡社、1989年（共訳、第1章「ディケ：自然界の秩序の象徴的表現」を担当、
42-96頁）
3. 『ギリシア悲劇全集』12（エウリピデース断片、紀元前5世紀）岩波書店、1993年、（共

- 訳、『アウトリュコス』、『バレロポンテース』、『エレクテウス』、『メレアグロス』、『ポリュイードス』、『プロテシラーオス』、『ステネボイア』、作者不詳断片 914-1024 を担当)
4. 『アントーニーヌス・リーベラーリス、メタモルフオーシス』(Antoninus Liberalis, *Μεταμορφώσεων συναγωγή*, 2世紀頃) 講談社、2006年、1-229頁
5. 『ギリシア喜劇全集』4 (アリストパネース、紀元前5世紀) 岩波書店、2009年、(共訳、『プルートス』90-190頁を担当)

学会・研究会発表

1. 『イーリアス』第6巻の問題」日本西洋古典学会第27回大会(京都府立大学)、1976年6月27日
2. 「ミューケーナイ時代のポトニア」日本西洋古典学会第40回大会(東京都立大学)、1989年6月3日
3. 「アポロン讃歌について」京都大学西洋古典研究会(楽友会館)、1997年12月20日
4. 「アルクマーン断片 Cosmological Poetry について」京都大学西洋古典研究会(京大会館)、2000年12月17日
5. 『オデュッセイア』第8巻の問題」京都大学西洋古典研究会(京都大学文学部会議室)、2003年12月13日
6. 『オデュッセイア』第21巻の問題」京都大学西洋古典研究会(京都大学文学部会議室)、2006年4月22日
7. 『オデュッセイア』第21巻の弓競技におけるテーレマコス」日本西洋古典学会第57回大会(千里金蘭大学)、2006年6月4日

講演

1. 『イーリアス』の話」輪島市与論見村勉強会(輪島市与論見、龍昌寺)1998年12月21日
2. 『イーリアス』における語り的手法:アリュージョン」東京工業大学外国語教育センター(東京工業大学会議室)、2002年11月1日
3. 「ソクレスの『オイディプス王』」輪島市与論見村勉強会(輪島市与論見、龍昌寺)2003年12月4日

4. 「ホメーロスの英雄像」 「高知高専新世紀文化フォーラム 2004 春 “ヨーロッパ文明の発祥について”」（高知工業高等専門学校会議室）2004 年 3 月 5 日
5. 「ギリシア悲劇について」 勤労者音楽協議会勉強会（金沢市教育会館）、2004 年 7 月 8 日
6. 「Epic Cycle: トロイア伝説圏」 京都ギリシア・ローマ美術館講演会（京都ギリシア・ローマ美術館講義室、2008 年 11 月 29 日
7. 「理性の輝き」 金沢大学創基 150 年記念シンポジウム「ことばの力、文化の力、その起源」（石川県文教会館）2009 年 12 月 19 日
8. 「『オデュッセイア』の話」 輪島市与論見村勉強会（輪島市与論見、龍昌寺）2010 年 1 月 23 日

その他

1. 「驚嘆する心 — 古代ギリシアにおけるみずみずしい感性」『金沢工業会誌』127 号、1998 年 8 月、1-3 頁
2. 「命ある限り学び続けるということ」『岡道男先生追悼文集』京都大学西洋古典研究会（西洋古典論集別冊）、2001 年 1 月、102-3 頁
3. 「崇高な精神と異形の相—古代ギリシアのバランス感覚」『日本ギリシア協会会報』101 号、2002 年 7 月、5-6 頁
4. 「夏雪草の思い出と共に」『松平千秋先生追悼文集』京都大学西洋古典研究会（西洋古典論集別冊）2007 年 93-5 頁

外部資金

（奨学金）

英国政府奨学金（British Council Scholarship）1972 年 10 月-1973 年 7 月

（科学研究費補助金）

1. 平成 10-11 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）2）「初期ギリシア文学の語り的手法」
2. 平成 11-12 年度科学研究費補助金（特定領域研究（A））「初期ギリシア文学におけるゼウスの主権」
3. 平成 12-13 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）2）「初期ギリシア文学における神々

の相克」

4. 平成 15-16 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）2）「西洋古典文学における『変身物語』と近代西洋文学におけるその受容」
5. 平成 17-18 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「ギリシア喜劇の深層とその今日的意義」
6. 平成 19-20 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「プロメテウス神話：ヘーシオドスから近代への変容」
7. 平成 21-23 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「カリマコス — ヘレニズム文学の様相とその意義」

